

遠賀

No.147 2017. 8.10

発行／福岡県おんがちょう遠賀町議会

議会だより



6月定例会

- 契約・補正予算など・・・2
- 臨時会など・・・3
- 一般質問・・・4
- おんがレガッタ・研修など・・・10

フラダンスサークル
「アロハモアナHape」

6月22日

「アロハモアナHape」の皆さんは、毎週木曜日に中央公民館で心と体のリフレッシュを兼ねて練習を行っています。この日は、ハワイの伝統楽器「ウリウリ」を持って、「タフワフワイ」という曲を笑顔いっぱいに練習されました。

6月定例会は、6月6日から16日までの11日間開催されました。

議案は、平成29年度補正予算や契約、人事案件など4件が上程され、慎重審議を行いました。

契約

(万円未満四捨五入)

広渡小学校空調設備設置
工事請負契約の締結

(全員一致可決)

広渡小学校空調設備設置
伴い、任命するもの。

▽入札の方法

条件付一般競争入札

▽契約金額

1億441万円

▽契約の相手方

株式会社 ハッセイ

▽工期

平成29年10月13日

人事案件

農業委員会委員の任命

(全員一致可決)

農業委員の任期満了に伴い、任命するもの。

安藤 敏生さん

(上別府)

瓜生 保司さん

(浅木)

花川 健二さん

(別府)

松井 悟さん

(尾崎)

三原 高志さん

(鬼津)

矢野 英昭さん

(島津)

芳村 正博さん

(木守)

米田 かおるさん

(上別府)

●任期

平成29年7月20日から

平成32年7月19日まで

平成29年度

一般会計補正予算

4313万円増額
(万円未満四捨五入)

(賛成多数可決)

第1回目の補正予算は、4313万円を増額し、予算規模は68億1386万円になりました。

【主なもの】

荒廃森林再生事業

380万円

森林の持つ水源の涵養

洪水・土砂の流出の防止

等を目的に、対象森林の間伐整備を行うもの。

都市計画道路見直し業務委託料

858万円

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。

都市計画決定から長い年月を経ている路線について、今後の方向性を検証し、見直すもの。



コミセン倉庫に保管されている和太鼓

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

レ、1階の身体障害者用トイレ、男女ロッカー室等のバリアフリー化のため、改修工事を行うもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

和太鼓、太鼓台の購入費に対して、補助するもの。

一常任委員会に付託された、一般会計補正予算の「一般コミュニティ助成金負担金補助及び交付金」について、14日・15日の2日間審議を行った。この助成金は、2年前にも同じ団体が受けており、今回と合わせると総額500万円の交付を受けることになる。

委員会では「前回の申請理由が、団員の増加や太鼓不足の解消であったが、2年間で2人しか増えていない。本当に今回の申請が必要なのか」「他団体からの申請がなく、公募も行っていないのは、公平性に欠ける」等の意見があったものの、「一度採択を受けた事業を差し戻せば、今後、県から本町への助成金交付に影響が出る」「否決すれば他の予算も執行できなくなり適当でない」等の意見が出され、慎重審議を行い、採決した結果、賛成多数で原案可決となった。

委員長報告

(第一常任委員会)

6月定例会において第

議会提出の議案

議案第49号 平成29年度遠賀町一般会計補正予算(第1号)に関する一般

コミュニティ助成金に係る附帯決議

(賛成多数可決)

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが、宝くじの収益を社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり等に対して助成を行う事業である。

本町において、平成29年度に採択された事業は、共生のまちづくり助成事業として遠賀体育センターのバリアフリー改修、一般コミュニティ助成事業として町内各自治会の備品整備と和太鼓団体の太鼓購入であり、本町が要望した3事業すべてが採択となっている。

このことは、コミュニティ施設整備やコミュニティ団体活動に寄与することであり、評価するものである。

しかしながら、議案第49号「平成29年度遠賀町一般会計補正予算(第1号)」で、和太鼓団体の太鼓購入に助成される一般コミュニティ助成金250万円に関しては、他にも助成を希望する団体が多く存在するのではないかと推測される。

そのため、今後は、助成の対象となりうる団体が、幅広く当該事業に対して申請を行えるよう、周知方法や選考方法などを整備するよう強く要望する。

(注) 附帯決議
議案を議決するにあたって、付け加えられる議会の意見や要望のことをいう。法的な拘束力はないが、政治的に尊重されるべきものとされている。

議案を議決するにあたって、付け加えられる議会の意見や要望のことをいう。法的な拘束力はないが、政治的に尊重されるべきものとされている。

5月 臨時議会 5月20日(8日開催)

各委員の選任

第一常任委員会

総務課、行政経営課、税務課、議会事務局、会計課、教育委員会の所管に関する事項。

委員長 仲野 新三郎
副委員長 織田 隆徳

委員 中野 嘉徳
尾下 康文
二村 義信
仲摩 靖浩

第二常任委員会
住民課、福祉課、健康こども課、都市計画課、まちづくり課、建設課の所管に関する事項。

委員長 加藤 陽一郎

副委員長 加藤 陽一郎

副委員長 濱田 竜一
委員 萩岡 峯達
萩尾 修身
田代 順二
萩本 悦子

議会広報常任委員会
議会放映に関する事項。

委員長 仲摩 靖浩
副委員長 萩尾 修身

委員 尾下 康文
田代 順二
濱田 竜一
萩本 悦子

議会運営委員会
議会の運営・会議規則、委員会条例、議長との諮問に関する事項。

委員長 織田 隆徳
副委員長 加藤 陽一郎

副委員長 加藤 陽一郎

委員 濱田 竜一
仲摩 靖浩
仲野 新三郎
萩本 悦子

議席の一部変更

2番 中野 嘉徳
8番 仲摩 靖浩

6月 臨時議会 6月23日開催

契約 (万円未満四捨五入)

島門小学校トイレ改修工事請負契約の締結 (全員一致可決)

▽入札の方法
指名競争入札
▽契約金額
6570万円
▽契約の相手方
株式会社 福田工務店
▽工期
平成29年10月31日

賛否が分かれた議案

(○：賛成 ▲：反対 欠：欠席)

議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
会議名	議案名	濱岡	中野	尾下	二村	萩尾	田代	濱田	仲摩	加藤	仲野	織田	萩本	古野
6月定例会	平成29年度遠賀町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○
	議案第49号 平成29年度遠賀町一般会計補正予算(第1号)に関する一般コミュニティ助成金に係る附帯決議	○	○	○	○	○	▲	○	○	○	○	○	○	(議長)

※ 全員一致の議案は除いています。



公共施設以外にも防犯カメラの設置は必要だ



地域の実態を把握し、公共施設に限らず、設置していきたい



はぎもと えつこ
萩本悦子

犯罪の抑止、解決に大きな力を発揮する防犯カメラ

一般質問とは…
年4回行われる定例会で、議員が町に対して現行政策の見直しや新規政策を提言する議員の重要な活動の一つです。

防犯対策の充実

議員 防犯対策を充実させるためには、防犯カメラの設置も必要だ。松戸市の女児連れ去り事件でも、防犯カメラは大きな力を発揮している。

町長は以前から、防犯カメラは、公共施設以外の場所に設置する考えはないと示されているが、現在の考えを尋ねる。

町長 本町での防犯カメラ設置状況は不足している。公共施設にもまだ設置していないところもあるので、基本的には公共施設を中心に設置したいと今まで答弁してきたが、防犯カメラの見直しというのも重要な防犯対策の一つであると考えてる。

今後は、通学路など、区長会を中心とした自治防犯組合の意見を参考に地域の実態を的確に把握し、公共施設に限らず、設置していきたい。

議員 本町の中学校には、防犯カメラが設置されているが、小学校にも必要だ。設置する考えはあるか。

町長 小学校にも設置していきたい。

議員 3月に女児連れ去り事件が起こった松戸市では、事件の後、作業車や緊急車両を除くすべての公用車にドライブレコーダーを設置するのとこのことだ。

本町でもすべての公用車にドライブレコーダーを設置する考えはないか。

町長 本町では現在、青パトははじめ10台の公用車にドライブレコーダーを設置しているが、設置できるところには今後、検討していく。

また、町内の事業所等にもドライブレコーダー設置の協力を求める必要があると考えてる。

議員 町内の犯罪危険箇所をどのように把握しているか、またその改善方

法について尋ねる。

町長 通学路等に関しては、学校やPTAなどからの危険箇所への対策要望を学校教育課で把握している。

また、自治防犯組合や防犯ボランティア団体からの対策要望については、まちづくり課や生涯学習課で把握し、建設課等との連携でハード対策を行っている。

さらに、自治防犯組合が作成した危険箇所一覧表と地図を提供していただき、関係各課との情報の共有化を図っている。

今後も、専門家や警察からのアドバイスを受けて、大人の視点だけではなく、子どもたちも実際に現場を体験しながら、危険箇所の実践的な把握ができればと考えている。

地域の皆さんには、情報の発信を定期的に行うことも検討している。



おだ たかのり
織田 隆徳



胃がん内視鏡検査の個人負担金を減額すべきだ



生活保護世帯は、無料に向けて検討する

がん検診受診率の現状と目標（平成38年度まで）

がんの種類	福岡県の現状	遠賀町の現状	目標
胃がん	11.8%	21.6%	50%
肺がん	13.6%	29.9%	50%
大腸がん	18.9%	31.1%	50%
子宮がん	38.1%	36.0%	50%
乳がん	35.4%	48.1%	50%

遠賀町健康増進計画より掲載

胃がん内視鏡検査の負担金の減額を

議員 平成29年度から導入された胃がん内視鏡検査は、個人負担額が一律3000円と高額である。受診率の目的達成のためにも減額すべきだ。

町長 遠賀郡4町と中間市で協議し、全国平均が3116円であり、これを参考にして決めた。なお、生活保護世帯は1000円である。

がん検診を医療機関で受診可能に

議員 がん検診の内、肺がん・大腸がん・前立腺がんの検診が医療機関で受診できない。全ての検診が医療機関で受診できるようにすべきだ。

町長 集団健診の受診者の減少が予想される。一方、利便性の向上を図るためには必要だ。検討課題としたい。

低所得者は減額すべきだ

議員 北九州市は、個人負担が一律1000円で、生活保護世帯や非課税世帯および70歳以上の人は無料であり、差が大きい。

町長 生活保護世帯は、今後無料に向けて検討が必要である。非課税世帯は、今後の課題として捉える。

国保税の軽減措置を行うべきだ

議員 平成30年度に国民健康保険事業の運営が県へ移管される。このことにより本町の国保税の引上げが必要になった場合、平成28年度につづき、更なる引き上げは、住民の負担が大きいく。これまでの方針である5000万円を基本に一般会計からの繰り入れを踏襲され、軽減措置を行う考えがあるか。

軽減措置を行う考えがあるか。

町長 標準保険料率が確定すれば、国民健康保険運営協議会に諮り、本町の保険税を決める。5000万円を基本に一般会計からの繰り入れを行う。これまでの方針に変わりはない。

学校に自販機設置の考えはないか

議員 小中学校に災害対応型の自動販売機を設置する動きが広がっている。熱中症対策や災害時の情報伝達手段として活用でき、収益金を学校や保護者会の活動に利用できる利点がある。保護者会の合意を得て設置する考えはないか。

教員長 お金の貸し借りや強要など、児童生徒間のトラブルの原因となることを危惧する。現状では設置する考えはない。

※この他にも「コミュニティ・スクール導入」

について質問しました。



病児・病後児保育事業の定員を増やす考えはないか



現在、定員を増やすことは厳しい状況にある



なかの 仲野
しんざぶろう 新三郎

利用時間 8:00~17:30
●お迎えは17:30を厳守してください。●
※入室時に20分、退室時に10分程度時間を要しますので、時間に余裕を持ってお越しください。

お休み 日曜日・祝祭日、お盆(8/13~8/15)
年末年始(12/29~1/3)

料金 利用料 2,000円 兄弟減免制度あり

給食代 700円(税別)おやつ代含
※入室時にお支払いいただきますのでご用意ください。
※ミルクの方以外は、給食とおやつを用意します。



ぞうさんルーム利用について

定員を増やす考えはないか

議員 病児・病後児保育施設の「ぞうさんルーム」の定員は1日最大10人だが、利用を断られたという話も聞く。今後、定員を増やす考えはないか。

町長 おんが病院内に設置している限られたスペースでお預かりしている。対象児の症状が多岐にわたるため、保育室を区切るなど工夫している。お預かりできる人数は5人程度であり、お断りする日も年間20日程度ある。現在定員を増やすことは厳しい状況にある。

議員 1日の最大定員は10人だが実際には3~5人しか受け入れられない現状である。看護師等の人員の配置はどのような状況か。

健康こども課長 看護師は常に3人程度確保できる状況にある。定員を増やすということに対しては人件

費の問題ではなく部屋の広さにある。感染のリスクを抑えるため部屋を4つに区切ると5人程度が限度である。

議員 例えばインフルエンザだと4部屋しかないのに受け入れは4人ということになる。施設、部屋を増やさなければ実質の受け入れは3、4人しかできない。受け入れ可能定員を増やす考えは。

町長 遠賀郡中間市1市4町で運営しているので、事業費等の問題があり議論が必要である。またおんが病院との協議も必要だ。ただ、最大利用状況が平成27年度で32%という実績の中で定員を増やすのがいいのか議論しなくてはいけない。

的に提供するようになり、介護予防事業の多様化を図ることとなった。重度化を防ぐためにも介護予防サービスを充実させていかなければならないと考えるが介護予防事業の今後の事業実施の方針は。

町長 介護保険制度が介護予防を重視していることに伴い本町においても介護予防事業を推進していく。社会福祉協議会や在宅介護支援センター等の機関と連携しながら実施していく。

議員 総合事業の効果的な実施を図るためにも福岡県の介護予防支援センターを活用していくべきではないか。

町長 福岡県介護予防支援センターによる市町村支援事業を活用した介護予防事業に取り組んでいく。小倉リハビリテーション病院のリハビリ専門職と連携をとりながら行っていく。

議員 介護保険法の改正により、市町村が主体となり介護予防サービスや生活支援サービスを総合

介護予防事業の今後の方針は

生活支援サービスを総合

※一般質問の議事録は、遠賀町ホームページ(<http://www.town.onga.lg.jp/>)で公開します。



はま おか みる さと
浜岡 達 達



ふれあいの里浴場は、現在の利用状況で満足か



入浴者数のみで、行政サービスが十分かの判断はできない



ふれあいの里、男女浴場入口

現状の利用状況で良いのか

議員 ふれあいの里浴場について、現在の利用状況で満足されているかを尋ねる。

町長 ふれあいの里は、高齢化社会の中で、明るく活力のある長寿社会の実現に向けて、生涯を健康で生きがいを持っていくよう、社会参加の場として提供する施設である。

ヘルスセンターや温泉センターではないので、単に、入浴者数の多い少ないの比較で行政サービスの提供が十分であるか否かの判断はできない。

利用状況向上の改善案はあるか

議員 ふれあいの里職員皆さんの前向きな取り組みで色々な改善がされていることに評価をしているが、利用状況の更なる向上に向けて、何か改

革案があるか尋ねる。

町長 従来から実施しているもの他に、新規事業として、各地区老人クラブ、関係福祉団体へ送迎付き屋内運動場の利用、ふれあいの里施設利用ができるパックとしての事業を現在検討している。

脱衣場にAEDが設置できないか

議員 サウナに長時間入ることで急に体調不良や熱中症等により意識を失ったり、その場で倒れたりするのを見たことがある。そのとき不安に思ったのが、脱衣場にはAEDが設置されてなかった。設置する考えはないか尋ねる。

町長 脱衣場は浴室の近くにあるため湿気が多いし、使用不能となるときがあるので、極力湿気の多い所は避けるように聞いている。社会福祉協議会からもエントランスホールの方が設置しやすい

ラジウムの交換はいつ行うか

議員 資料によると小浴場のラジウムの交換については、いつ行うのかが表示されていない。

どのくらいの頻度で取り換えを行っているのかを尋ねる。

町長 社会福祉協議会からの回答を基に答弁をする。

平成19年に社会福祉協議会が294万円の予算を投じて、ラジウム鉱石を購入し設置をしている。錆びにくいステンレスのボックスに入れ、小浴場の小浴槽、中浴槽に設置し、年1回の薬品による定期清掃を行っている。業者からは半永久的使用可能と聞いているので交換の必要はないとのことだった。



洋式が苦手な子に便座カバーの持参は認められないか



はぎ お おさ み
萩尾 修身



便座カバーの持参となると、いろんな問題があるので難しい



家庭で利用されている便座カバー

学校への便座カバーの持参は

議員 文科省調査で、高学年ほど和式を望む女子が多い。今の子は消臭、防菌に敏感なので、他人が座った便座に座りたくないという傾向がある。そういう意識の子には、自分専用の便座カバーの持参は、認められないか。

教育長 便座カバーの持参については、置き場所や汚物が付着した場合の処理などに問題があるので少し難しいと考える。

議員 トイレの洋式化については、自治体によって洋式と和式の比率が違うが、本町の考えは。

教育長 実施計画の段階で島門小の子どもたちにアンケートを実施した。ほとんどの便器を洋式で設計したが、保護者の声や、先進地の事例を考慮して、一部和式を残した。

議員 洋式トイレは、暖

房および洗浄機能付きか。**学校教育課長** 暖房は付くが、洗浄機能は付いていない。

議員 学校は災害時には避難所の機能を有するので、多目的トイレを造るべきと考えるが。

教育長 各階1個設置するよう計画している。

教育勅語についての考え方は

議員 教育勅語は、天皇を頂点とする秩序を説き、戦前の教育の理念を示したものである。国は、憲法や教育基本法に反しない形で教材に使うことを認めている。道徳が、小中学校で正式な教科となる前に、どう考えているか。

教育長 教育勅語に掲載されている徳目については、道徳の資料として扱うことは考えていない。

教材には、「私たちの道徳」や各学校が使用している副読本などを取り扱うことで、充実した指導

が行われているものと受け止めている。

道の駅に対する考え方は

議員 道の駅実現可能性調査が行われたが、これからの町の取り組みは。

町長 この調査は、遠賀町総合戦略策定段階において、町の活性化、働く場の創出などを模索する中で、本町の地理的優位性を生かせるものではないかということで実施したものである。現時点では、遠賀川駅を中心とする町の活性化に力を注いでいかなければならない時でもあり、これらの事業が落ち着いた後に、改めて検討していきたい。

※この他にも「地域福祉計画」について質問しました。



たしろ じゅんじ
田代 順二



保育料を無償化にする考えはないか



年々増額しており、保育料無償化の新たな財源の確保は難しい



町内の保育所

保育料を無償化する考えはないか

議員 子育て支援について尋ねる。保育料を無償化する考えはないか。

町長 本町の保育事業は平成28年度は延べ5429人を措置している。

平成28年度の保育料は国の基準で算定すると、1億2687万円だが、

本町の保育料軽減制度により1億369万円となる。約2318万円が軽減されている。特定防衛

施設周辺整備交付金を活用し本町が負担している。

待機児童解消の保育所整備に対する補助金交付、保育士の処遇改善加算や

保育所への委託料増額等、保育事業に関する予算は年々増額しており保育料

無償化の新たな財源は難しいと考えている。

少人数学級を推進してはどうか

議員 少人数学級を推進

すべきと思うが尋ねる。**教育長** 小学3年生以降も少人数学級が望ましい。

文科省は中学3年生まで順次、35人学級を導入していく考えだが財務省の

反対により頓挫している。**議員** 35人学級を町負担で増やしていく考えはないか。

教育長 35人学級を進めていくことが理想だが、現実に近隣で35人学級を実施している市町村の状況を調べると、講師の確保に苦慮しており、年度当初の学級編成ができない

学校もある。今いる教員をはじめ先生方の指導力を研修等で鍛えていくしかないのが現状だ。

議員 国保法定外繰り入れ継続必要では

議員 平成30年度から県が国保行政を統括・監督する。国保税を抑えるため法定外の繰り入れ継続は必要と思うが尋ねる。

町長 基本的には今の状

況がどの程度になるのか明確になっていないが、ある程度の法定外繰り入れは必要と思う。

議員 国が平成30年度から未就学児までを対象とする医療費助成については減額調整をしないと言っている。その額はいく

らか。また、中学卒業までの助成についても減額調整はしないよう国に求めたらどうか。

町長 150万円程度になる。中学卒業についても国、県に要望したい。

議員 被保険者資格証明書の交付が10世帯あるがその状況は。また被保険者証明書の発行はやめるべきではないか。

町長 10世帯のうち3世帯は分納で保険証を交付2世帯は所在不明等で交付不能、5世帯に資格証明書を交付している。資格証明書の発行予告を行うことで、保険料納付につながるから収納対策として有効な手段だ。

快晴の中行われた

おんがレガッタ

5月27日・28日に遠賀川漕艇場にて「第19回おんがレガッタ」が開催され、本年も多くのチームの参加がありました。当日は快晴でコースコンディションにも恵まれ、各チームも優勝を目指し競技に、また選手の応援にと一生懸命に頑張っていました。

本町議会チームは予選1位通過、準決勝では惜



力を出し切った選手たち

しくも敗退してしまいましたが、郡内3町の議会チームにも参加していただき、各議員との交流も深められた素晴らしい大会となりました。

常任・議会運営委員長 副委員長研修会

7月7日、福岡県町村議会議長会主催による、常任・議会運営委員長・副委員長研修会が行われました。講師は、全国都

道府県議会議長会、事務局次長の内田一夫さんで、「地方議会をめぐる動向と会議の進め方」について講演されました。

会議の進行を妨げる問題に遭遇した場合に、「地方自治法や委員会条例等



講師の内田さん

救急講習を受講しました

6月14日、遠賀郡消防本部の職員を講師として、議員全員出席のもと、救急講習を受講しました。

前半の座学では、救命処置について学びました。心筋梗塞等による心肺停止は年間2万5000件ほどあり、一次救急処置により救命率が大きく改善されるにもかかわらず、「何をしたらよいかわからず」「何をしたらよいかわからぬ」「誤った応急手当をして悪化させるのが心配」などの理由で、目撃しても心肺蘇生を実施しなかつた例が半数近くあるとのことでした。



正しい救急措置が蘇生につながる

- ①呼吸の有無を確認
- ②救急車とAEDの手配を周りの人に指示
- ③心臓マッサージ
- ④AEDの使用

後半の実技では、心臓マッサージとAEDの使用方法を学び、演習しました。講師は「正しい救急処置を広く伝えることで蘇生率が大きく向上した自治体もあり、今後は郡内全ての小学校で救急講習を開催していく」とのことでした。

遠賀議会だより

発行責任者

議長 古野 修

議会広報 常任委員会

委員長 仲摩 靖浩

副委員長 萩尾 修身

委員 尾下 康文

田代 順二

濱田 竜一

萩本 悦子

あ と が き

5月の臨時会において、各種常任委員会の委員が選任され、私も議会広報常任会（以下、広報委員会）の委員長を拝命しました。

広報委員会の仕事の一つに、年4回発行される議会だより（以下、広報紙）の製作がありますが、「読者が読みやすい、優しい広報紙作り」というものに、いつも頭を悩まされます。多くの内容を詰め込めば、文字ばかりの読みにくい広報紙になりますし、見やすいように写真や絵を多用すれば、内容が薄い広報紙になってしまいます。

内容が濃く、読みやすい広報紙の製作は、相反する永遠のテーマである気もしますが、これからも、内容が濃く、読みやすい広報紙を目指して頑張ります。

仲摩 靖浩